

SAKASO

〔さかそう〕



特集 先生に聞いてみよう

佐々木先生と救急科のあゆみのこと。



2019.2 Vol.34

おしらせ

坂総合病院 市民公開講座を開催します

テーマ 大腸がんのはなし

坂総合病院の周辺地域を会場に、様々な分野の病気について医師自らがレクチャーを行う「市民公開講座」。2019年の第1回目となる今回は、当院外科医でがん診療支援室長の盛口 佳宏が講演。大腸がんやその治療方法、当院のチーム医療の取り組み、がん相談窓口などについてお話しします。ぜひお越しください。

- 日 時:2019年2月9日(土)10:00~11:30
- 会 場:福室市民センター
(仙台市宮城野区福室5-9-36)
- 参加費:無料 ※事前申込不要
- 問合せ:坂総合病院 022-365-5175(代表)



診療予約・変更・お問合せ

まずはコールセンターへお電話いただき
ご確認をお願いいたします。

コールセンター 022-361-8288

●平日 8:30~16:30(小児科のみ8:00~)

●土曜 8:30~11:30(小児科のみ8:00~)

※日曜・祝祭日、年末年始(12/30~翌年1/3)、8/16(お盆)は休業。

◎紹介状をお持ちの方は、必ずその旨をお伝えください。

◎上記時間以外で救急診療のお問合せは、病院代表番号
(022-365-5175)にお電話をお願いします。

詳細はwebサイトでもご確認いただけます。

坂病院 <https://www.m-kousei.com/saka/>



電車の場合 ▶ JR仙石線・下馬駅下車。駅前が当病院です。

お車の場合 ▶ 第三駐車場は、当院ご利用の方は無料です。
第三駐車場と病院間の送迎バスを運行しています。

表紙について

今回は救急の現場に不可欠な救急隊にも
ご協力いただきました。「“断らない医療”を
掲げる先生への信頼は厚い」と語る隊員の
皆さん。先生との強い繋がりが覗けました。

●表紙撮影/塩釜消防署

SAKASO

坂総合病院 広報誌[さかそう]
2019年2月1日発行

 坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5 <https://www.m-kousei.com/saka/>
【広報誌に関するお問い合わせ】Tel 022-365-5175(代)



毎回特集内容を変え、病気や
病院のあれこれを発信。

今回は、「救急科のあゆみ」
をご紹介します

.....

特集

先生に
聞いてみよう

佐々木先生と 救急科のあゆみ のこと。



「断らない医療」の原点は
2つの出来事がきっかけ

佐々木先生が掲げるモットーは「断らない医療」。その原点には、2つのきっかけがありました。ひとつは幼少期に親しんでいた医師の姿。「どんな病気やケガも診てくれる先生でしたね。その姿を見ていたからこそ、それが当たり前の医者のかたちだと思っていました」。それでもうひとつは、初期研修医時代に「子どもから高齢者まで、どんな症例も診察する医療」を提唱した大学教授の講演に感銘を受けたこと。「誰でも診察することができるのが救急科だと知り、『これだな』と。専門の道に進むことももちろん素晴らしいことで、専門外の症例は診ませんでした」

救急科をつくることは
みんなにとってのメリットだ

佐々木先生が救急科の医師を志した当時、坂総合病院の救急部門は各科の医師が持ち回りで

震災があったからこそ
感じた搖るぎない決意

2011年に起きた東日本大震災は、坂総合病院にとって大きな経験をもたらしました。佐々木先生も「あの時は、『こういう時こそなんとかしないと』という

ことができるのが救急科だと知り、笑顔で語るものの、佐々木先生を突き動かした並大抵ではない熱意を感じられます。

スタッフが自ら考へて
行動できるチームをつくる

佐々木先生は命の現場で働くチームを作る上で大切にしていることがあるといいます。「それぞれに考えて行動できる組織運営ですね。お互いが適切と思う行動をとりながら、協働性を持つてひとつの目的に向かう。それを指示するのが私の役割だと思ってい



ます」。スキルの高いスタッフと共に築いた万全のチーム体制があるからこそ、近年では救急車の受け入れ数が増えつつあるそうです。しかしこの経験は「『できる』と確信したんです。平時の診察に戻つても、どんな患者さんも断らぬ診療ができるって」という確言葉を投げかけられたり、同じ想いを共有する仲間を集めることに苦労したりしながらも、その想いは徐々に形を成していきます。

「みんなにとつていいことをしていれば、周りは理解してくれるだろうなと思っていました」。そして、坂総合病院に救急科が誕生。「もともとあつた救急部門の形を少し調整しただけ。そんなに大変ではなかつたですよ」と柔軟な笑顔で語るものの、佐々木先生を突き動かした並大抵ではない熱意を感じられます。

佐々木 隆徳 (ささきたかのり)

宮城県出身。山形大学医学部卒業後に坂総合病院へ入職。現在、救急科科長。初期研修医時代に救急科の道に進むことを決意し、以降救急科の中心として活躍。総合診療医の養成組織「みちのく総合診療医学センター」に携わるほか、SNSでの情報発信にも注力する。

塩釜市を中心に地域の医療を支える坂総合病院。適切な治療と高度な技術で人々を支えています。今日は、人々の命を支えた佐々木隆徳先生の取組みとそのあゆみに注目します。

菅野 俊一郎(かんの しゅんいちろう)

リハビリ室 作業療法士

自動車運転支援チーム

| 体制 | 医師：1名 言語聴覚士：2名 作業療法士：3名 理学療法士：1名 |
|----|---|
|----|---|

- 支援の流れ
- 運転のご意向の確認や認識の相談
 - 脳機能の検査・運転環境の評価
 - 教習所での実車評価
 - 運転免許センターの適正相談へ(公安委員会)

最近ではパンフレットの作成や支援した方の追跡調査も行い、今後の支援の充実に向けて日々取り組んでいます。

退院後、再び車の運転がしたいと希望する患者さんは少なくありません。主に脳卒中を発症した患者さんは運転再開のための適性確認が必要となります。その際に医師の診断書を求められる場合があります。しかし診断書には統一した基準が確立されておらず、医師がそれぞれに判断し診断書を作成しなければなりません。そんな中、当院リハビリテーション室では医師が判断するための評価チームとして、2013年に自動車運転支援チームを立ち上げ、これまでに100名以上の脳血管疾患の方を支援してきました。運転評価は院内での身体機能検査と神経心理検査、教習所での実車評価を実施します。

栄養手帖 ■ 食養室だより

おいしいキノコの栄養を知ろう！

秋から冬にかけて旬を迎えるキノコ。どの種類も旨味だけでなく、栄養が豊富です。

キノコの栄養トリビア

- 生の状態では約90%が水分
- 食物繊維により便通を改善。また血糖値やコレステロール値を正常に保つ働きで生活習慣病の予防効果が期待される
- ビタミンBが脂肪の代謝を促す
- カリウムの働きで塩分の過剰摂取を抑制する効果が期待される
- 紫外線を浴びるとカルシウムの吸収を助ける成分となるビタミンD（エルゴステリン）を含む

キノコのおすすめレシピ

シメジと青菜の煮びたし



●材料(2~3人分)

シメジ…100g
青菜(ホウレンソウなど)…200g
サラダ油…大さじ1
砂糖…大さじ1
しょう油…大さじ1

●作り方

- 青菜を洗って5cm程度の長さに切る
- フライパンに油を入れ、シメジと青菜を炒める
- しんなりしたら砂糖としょう油で味付けする

「運転したい！」を支えます

笑顔が素敵なひと

先日院内で行われた、スタッフ同士を推薦し合う企画「笑顔が素敵な人みつけた」。

“患者さんに笑顔で応えることの大切さを考えたい”という想いのもと、

笑顔で仕事に取り組んでいるとして推薦されたのがこの6人。

「笑顔の秘訣は？」の答えと共に、キラッキラの笑顔をご覧あれ！



※次号は「支えるひとたち」 緩和ケア認定看護師 菊地美希子(きくちみきこ)

渡邊 一也 (わたなべ かずや)
救急病棟師長

2015年7月に新設された

救急病棟。既存の救急外来と併せ、
あらゆる救急患者さんに対応す
る部署として活動してきました。

2018年8月には集中治療室
を含めた救急から集中治療まで
継続性を持つケアを行う救急セ
ンターが発足。急性期医療機能
の強化を目的に、今では年間
4000台を超える救急車の対
応や救急病棟や集中治療室に入
院した患者さんの看護を行なって

おります。

ここで提供するのは、患者さん
の身体的ケアや、それぞれの生活
背景や個別性に寄り添った看護。

多職種が連携・協働してそれぞ
れの専門性を發揮しながら「救
急から地域・在宅」まで切れ目
のない医療・介護・福祉を提供
できるよう、退院後の生活まで
見据えたチーム医療を展開してい



ます。急性期看護の柱のひとつと
して挙げられるのが「家族看護」
です。患者さんは突然病気やケ
ガで救急搬入され、家族の多く
はその突然の出来事すぐに受
け止めることができません。しか
しそんな混乱の中でも、私たちの
看護の力で家族の方が少しでも
安心して患者さんに寄り添える
ようにお手伝いをする。この想い
を中心に、看護活動を行なってい
ます。当院は災害拠点病院でも
あります。これからも地域住民
が安心して住み続けられる、「地
域を守る部署」でありたいです。

地域密着のかかりつけ医を目指して



院長
池野暢子先生
(いけの のぶこ)



婦人科、小児科、形成外科、漢方内科

いけの医院

〒985-0004 宮城県塩釜市藤倉3-17-5

TEL 022-367-1110

URL http://www.ikeno-clinic.com

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00 - 12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | / | ○ | |
| 14:30 - 18:00 | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | |

休診日／第4水曜日午後、金・日曜、祝祭日

※水・土曜、第3木曜は17:00まで。

第4水曜は午前のみ診療

※初診受付は受付終了の30分前まで

※土曜の午後は休診になる場合あり。

来院前に要確認



連携医のご紹介 いけの医院

[産婦人科、小児科、形成外科、漢方内科]

産婦人科と小児科を標榜した
診療所の開設から30年。「良質な
医療を提供すること、安全で快
適な看護を提供すること」を理
念に、妊婦検診、分娩、婦人科
疾患の治療や小児疾患の治療、
予防接種などを行なってきました。
2015年には入院室を閉鎖し
ましたが、それ以後産婦人科・
小児科の無床診療所として外来
診療に専念。その後には予約
制の漢方内科と形成外科を開設
し、漢方内科では様々な愁訴の
患者さんに東洋医学的なアプローチ
を用いた治療を行うほか、形
成外科ではできものや傷、ニキビ

などの診療からシミやたるみなど
に対するスキンケア指導も行つて
います。診療形態は変わりまし
たが「いけの医院でよかったです」と
感じてもらえるよう、今後も地
域に密着したかかりつけ医として
患者さんに寄り添う存在であり
たいです。患者さんのために私た
ちも笑顔を絶やさず、心のこもつ
た診療を目指していきます。

坂総合病院には、患者さんを
紹介するといつも快く受け入れて
いただき感謝しています。患者さ
んの坂総合病院への信頼も、日に
日に増していると感じる毎日です。

坂総合病院から

いつも明快にお
話をされる池野先生。長く
地域に根をおろし、女性や
子どもに安心を届ける存在
となっています。当院の産
婦人科や小児科とはお互い
に顔が見える連携を続けて
きました。漢方や形成外科
まで診療の幅を広げたとの
ことで、今後ますます連携
を深めていけたらと期待し
ています。

